

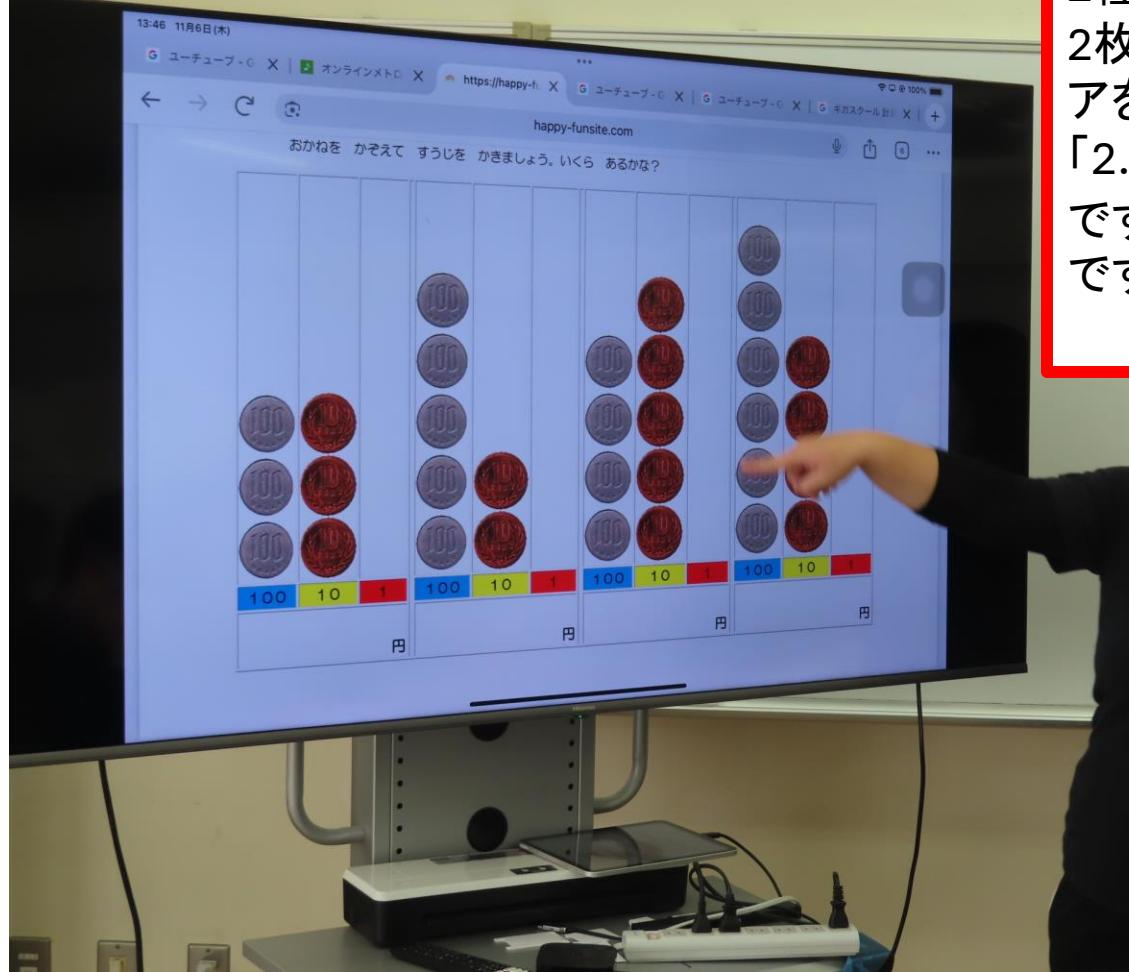
普通科3年A2グループ数学

「お金の学習」

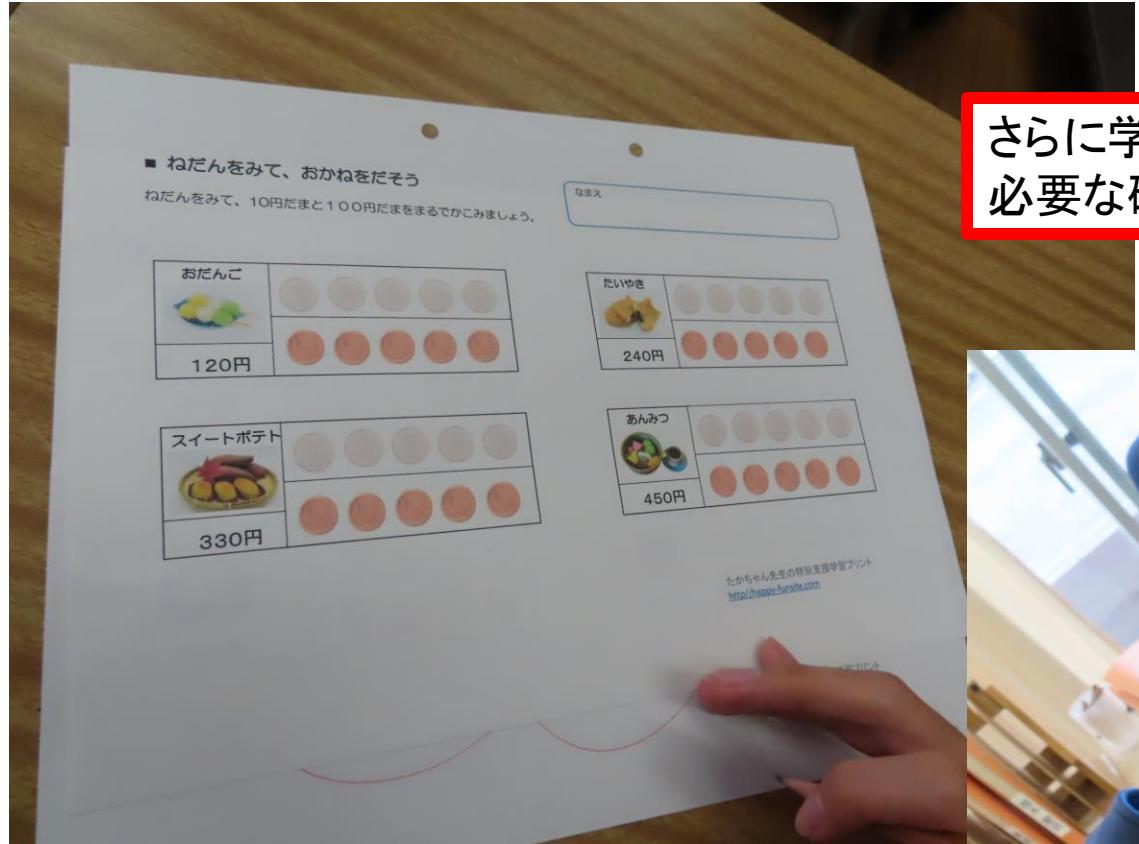


授業実践ギャラリー

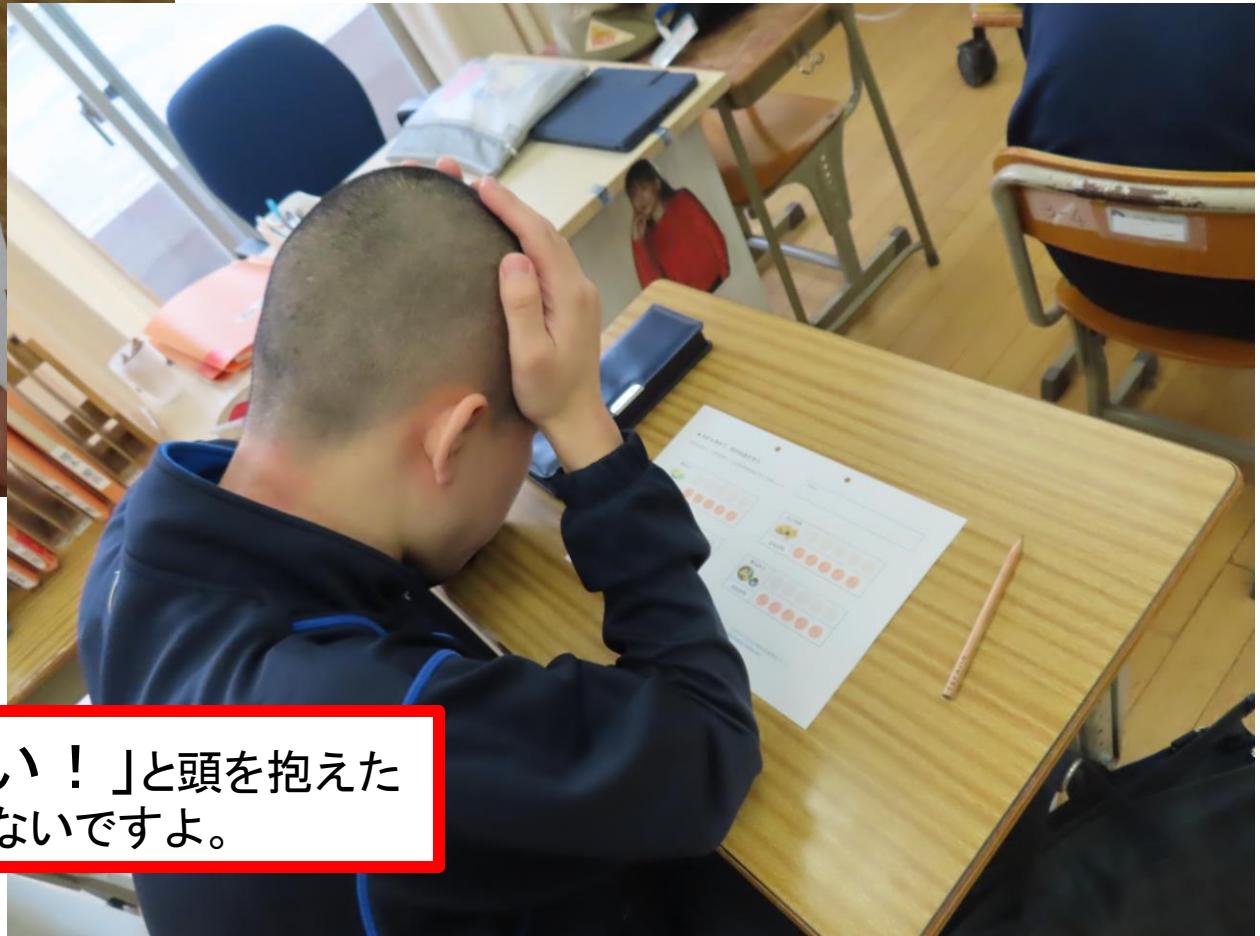
2種類の硬貨を使った学習です。「100円を五枚」と「10円を2枚」でいくら?と考えるのですが、100円エリアと10円エリアを統合するのが、結構難しいですね。「5百、、」に次いで「2..」「百、、」となってしまったり。分離して考えるとできるのですが、統合するところでつまずいてしまうことが多いようです。



そして、正解できるとこの笑顔です！勝利のグータッチ！



さらに学習を深めるため、個別にプリントで必要な硬貨に○をつけていきます。



この生徒はお団子の解答を書いたとき、
だるま型に120円分を囲みました。

後で先生が説明しながら100円硬貨と10
円硬貨をそれぞれ囲んだのを見て、間に
線を書き加えていましたが、最初に全部
を囲むという書き方をしたことに学習の深
まりが表れています。

お団子は100円と20円ではなく、120円な
のですから！

我々教員にはこうした変化がとてもとても
嬉しいのです！

